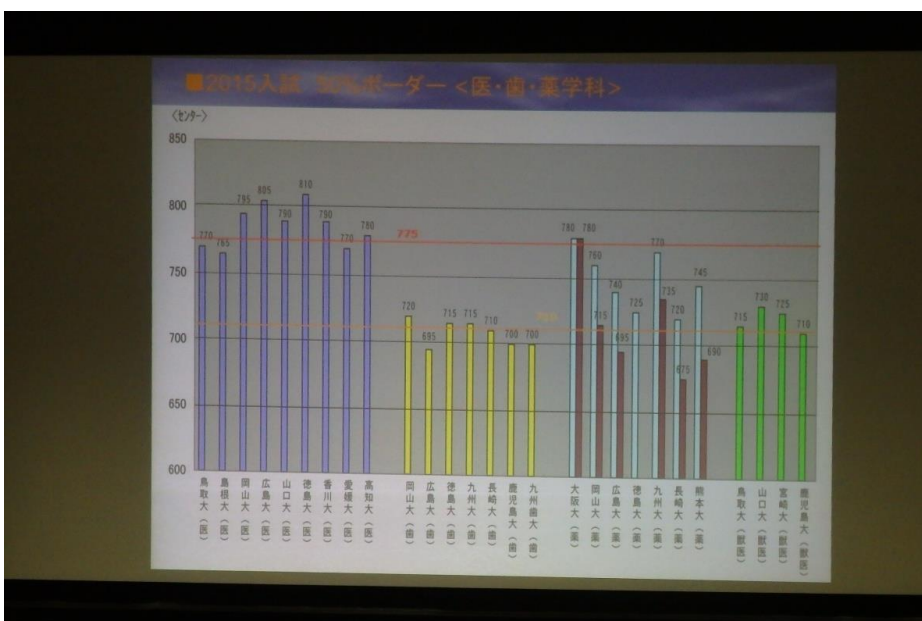


## 医・歯・薬学科志望者講演会（1、2年生）

12月21日（月）2学期終業式を終えた午後、「医・歯・薬学科志望者講演会」を実施しました。講師には、高松高等予備校から細川康彦様をお招きしました。1年生31名、2年生16名の計47名が出席しました。

講演では、医・歯・薬学科の入試の現状について詳細に説明があり、合格のための具体的アドバイスもたくさんしていただきました。参加した1、2年生は皆、真剣にメモを取りながら聴きました。細川先生、どうもありがとうございました。





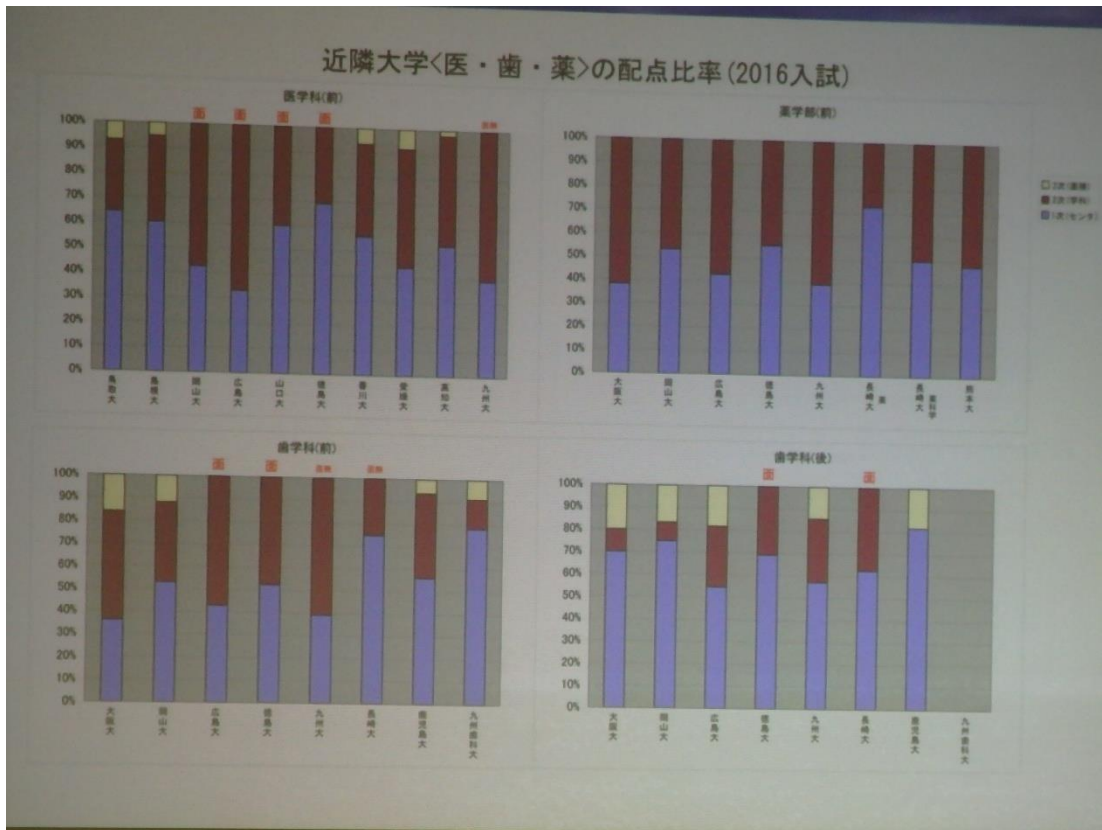
継続すること



〇〇を信じること。

伸びる生徒とは

①すなおな心



【高松高等予備校の早朝7：30～8：30の自習の様子】が紹介されました



## 【参加生徒の感想】より一部紹介

- この講演を聴いて医学部に対する考え方が大きく変わりました。普通の勉強では受からないと思っていたが、やはり今学んでいる基本的なことが大切なのだと分かりました。多くの1、2年生が集まっていたので、一人ではないと感じることもできやる気がとても出ました。
- 「行けたらいいなあ」というような中途半端な気持ちでは合格するのは不可能だということがわかりました。
- 努力の仕方、勉強の仕方を一度見直し、今の自分のままで本当に大丈夫なのかと考えるよい機会になりました。
- 定期テストの見直しをすることが、合格を確実にするのだと分かりました。先生は何度も「見直し、穴(抜け漏れ)を埋める」という言葉を話されていたので、一番大事なのだと思いました。自分を信じ、学校を信じて継続していくことで、志望校への道を勝ち取ることができるとわかりました。
- 伸びる生徒は、素直で感謝の心をもっているというので、そういう気持ちを大切に勉強することに感謝して取り組みたい。塾に通っていないので、学校を信じて毎日の授業を大事にするとともに、自分を信じて家庭学習したい。絶対に進路を実現するのだという強い意志を持って自分と向き合っていきたい。
- これまで、「医・歯・薬学科」は難しくて特別な勉強をし、センター試験は、ほぼ満点を取らなければ受からないものだと思っていたが、一番大切なことは、定期試験の見直しをして、高校で習う内容をどれだけ仕上げるかであり、どんな点数でも気を抜かず、あきらめないことが大切だということが分かりました。
- 自分は自信がなく、最近になって本当に医学部を目指してよいのかと考えていましたが、やはり医学部以外ありえない、やる以外にないと思いました。
- 模試などのテストの見直しは、今からでも遅くないと聴き、すぐにやろうと思いました。次に同じ問題をやったら満点がとれるくらい徹底してやることが大切だとわかりました。
- まだ3年生でないから勉強しなくてもよいのではなく、早め早めに取り組まないと間に合わないなと思いました。
- テストの見直しはこれまで全然していないので、大切と聴き焦りました。塾に行きはじめ、なんとなく塾に行っているから大丈夫という根拠のない自信(思い込み)がわいてきていましたが、学校で出された課題や、授業をもっと大切にしていかなければと気づきました。まだ可能性はある。
- 模試の見直しも、2回、3回とやり、満点をとれると自信を持てるまでやりたいです。
- 寮生活の紹介があり、1日のほとんどが勉強で、門限も5時というのに驚きました。
- ボーダーラインなどを知ることができ、それ以上の点数をとること、具体的な点数が、目標として見えてきてよかったです。学科試験だけでなく、面接なども大きく関わってくるということが分かりました。面接は、普段がそのまま出るので、日頃が大切とわかりました。